

令和6年3月30日

丸三産業株式会社行動計画

丸三産業株式会社

令和4年制定の行動計画にて「管理職(AGL以上)の女性労働者比率を15%以上にする」「有給休暇取得率を30%以上にする」との目標を定め、実現に向けて継続して取り組んできた。

その結果、令和6年2月末時点で管理職(AGL以上)の女性労働者は8.0%と目標に届かなかったものの、裾野となる係長級(TL)の女性労働者比率は25.5%となり、今後の女性管理職の比率増に期待ができる数値を残すことができた。

また、有給休暇取得率については、64.4%と目標を超える高い数値となったが、新型コロナウイルスが2024年5月に5類感染症に移行したことに伴い、本人または家族の感染による休業が特別休暇の扱いではなくなったことから、有給休暇を使用する機会が増えたことも要因となっていると考えられる。

しかしながら、有給休暇を使う・使えるという意識は従業員に浸透してきており、有効に活用することで家庭生活との両立に良い傾向にあると考えられる。

新たな行動計画においては、引き続き女性管理職(AGL以上)の割合を増やす取り組みを行うとともに、職業生活での充実を重視し、より会社に愛着を持ち長く働いてもらう(勤続年数を増やす)ための取り組みを行っていくこととする。

1. 計画期間：令和6年4月1日～令和8年3月31日までの2年間
2. 当社の課題：女性の管理職比率が低く、平均勤続年数が約10年と短い
3. 内容

目標1：管理職(AGL以上)の女性労働者比率を15.0%以上にする。

<取組内容と実施時期>

令和6年4月～ 行動計画についてウェブサイト等により社内外に周知
管理職候補者を対象とした研修プランの策定

令和6年8月～ 上記研修プランの実施

目標2：平均勤続年数を男女ともに国内平均である12年以上とする

<取組内容と実施時期>

令和6年4月～ 行動計画についてウェブサイト等により社内外に周知
平均勤続年数増プランの策定・実施準備

令和6年9月～ 上記プランの実施

以上